

Smart Times

ZERIKALINTOアラファイフの学び直し「のびとコマ」「文献知の共有」というプログラムである。

研修の課題図書は講師に宛てて感想を書くのが一般的だ。「文献知の共有」はそれとは違う。12分の授業

指定された本を読み、その本についての「授業」をする。授業を受けた受講生たちは自分の周囲の誰かにその本の紹介メールを出す。私が発起人のPHAZE Eで提供している「PHAZE

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文庫・マラーサーシャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者（COO）などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

をしてもらう。人に教える、く知っている人からの推薦ことは理解を深める。本の方が圧倒的に興味関心を概要を伝えるだけでは抱くものだ。メールとはい。自分がどう感じたか、え、普段本を読まない人でも読んでみようと思っ。何を学んだか。これらをも読んでみようと思っ。かきやすく伝えてもらう。この一連のプロセスでメ

「文献知」の共有について

私からは「世界一受けたメールを受け取った人たちがい授業」をしてほしいと伝。薦められた本を買っている。さらに、感想文。おなみに。私に送った本は、私が選書した書籍は今のペリ。しまいがちだが、授業をする。ストセラーではない。私が。感銘を受けた良書だ。中に。琴線に触れる授業を受け。は中古市場でないと手に入。ると紹介メールを書く手も。らないものもある。ある本。題る。売り手からの「リコ。などは中古市場で値が高騰。メント」とは違う。AIに。私が推薦し。る。書店で本と出会う本。よる推薦よりも、自分がよ。たときは1000円くらい。を通じてPHAZEリカレ。思う。

だったが、8000円にな。っていたと指摘を受けた。に出会い、そのコミュニテ。旧知の口販グループホー。ルディングスの古川英作社。長に話したところ「おもし。ら、今やオンラインで十分。だ。書店の価値はそれだけ。ではない。小さい頃、書店。に足を踏み入るとワクワク。クした。何かに出会う予感。があったからだ。ネットで。検索して購入するときは指

名買という

こともあり、

この出会い感

がない。書店

が、

書籍や雑誌を手

に

したときから、

さまざま

な

旅に出

る、

新たに勉強を始める、

誰かとの出会いの予感な

ど。PHAZEリカレ

のよう

なコミュニ

ティ

と

の出会い

もアラ

ファイ

フ世

代

の

出

会